

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表:令和 6年 3月下旬

回答数:6 事業所名:放課後等デイサービス ここはれ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	5	1	児童10名に対し保育士または指導員2名という国の人員配置基準に加え加算要件を満たす人員配置を行っております。	今後もより安心・安全に支援できる体制を整えていけるよう努めます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	日々の利用人数の状況を職員全員が把握し個々に応じた配慮をしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		日々の支援を振り返り反省し改善につながるよう話し合いの場を設けています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			定期的の実施し公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	4		義務化されている研修はもちろんの事今後は職員のスキルアップのための内外の研修機会を設けて参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		見学時・契約時に丁寧に聞き取りを行っています。	現在は利用者様と社内の評価のみとなっている為今後、必要に応じて実施を検討したいと思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		事業所で作成したアセスメントシートを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	状況に応じてその都度考え実践に取り組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		大まかな役割分担は事前に考えてあり毎日、掲示することにより職員全員が確認できるようにしています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々、記録をつけています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的にモニタリングを実施し保護者様とお子さまの現状把握・振り返りを行ったうえで見直し等を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	5		アセスメントを基に優先順位をつけて「長期目標・短期目標」を設定した放課後等デイサービス計画を策定しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		サービス担当者会議等ある場合は参画しています	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		保護者様を通じて連絡・情報共有を行っています。また送迎時には対話をするようにしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要なお子さまのご利用がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3		今現在、該当するお子さまがおりません。今後は行っていきたくと思っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4		今現在、該当するお子さまがおりません。今後は、必要に応じて対応していきたくと思っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	公園や外部施設内でスペースを共有する機会を作っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		今後、参加を検討していきたくと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		モニタリングの際や必要と判断した場合に連絡帳やLINEなどで相談、提案など行っています。引続き行って行きたいと思っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		引続き検討課題と考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情について、迅速かつ丁寧に対応できるよう心掛け苦情受付・苦情解決の責任者を置き適切に対応できるように努めています。

保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		連絡帳やLINE、HPにて活動内容をお伝えし公開しています。気になる点や連絡事項等は都度、保護者様にお伝えするようにしています。	
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報の取り扱いには十分注意しており、個人情報が記載された書類などは鍵付き書庫での管理を徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		お子さまの特性などを把握した上で配慮をしています。視覚を通して理解できる場合等は絵カードなどを活用し意思の確認ができるようにしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			各マニュアルを策定し職員全員に周知しています。今後は、保護者様にも周知できるよう努めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎月1回色々な災害を想定した訓練・勉強会を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		マニュアルの策定・虐待防止責任者を置き社内研修を行い虐待防止の意識向上に努めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		現在、該当するお子さまのご利用がありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		その都度、検証し情報共有して改善策につながるように努めています。	